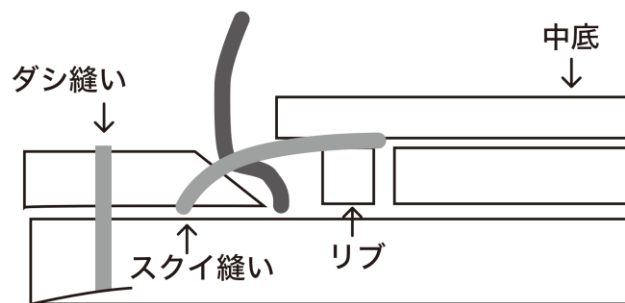


靴の製法

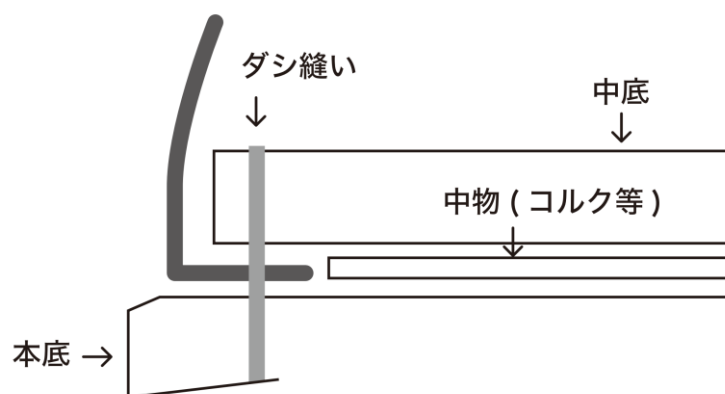
靴の製法とは、甲部（アッパー）と底部（本底）を接合する底付けの方法を言います。これは、大別すると三つの方法があり、さらにそれらを組み合わせたものもあります。糸で縫い付ける方法、接着剤で貼り付ける方法、一体成型する方法などもあります。

グッドイヤー・ウェルテッド (グッドイヤーウエルト) Goodyear Welted

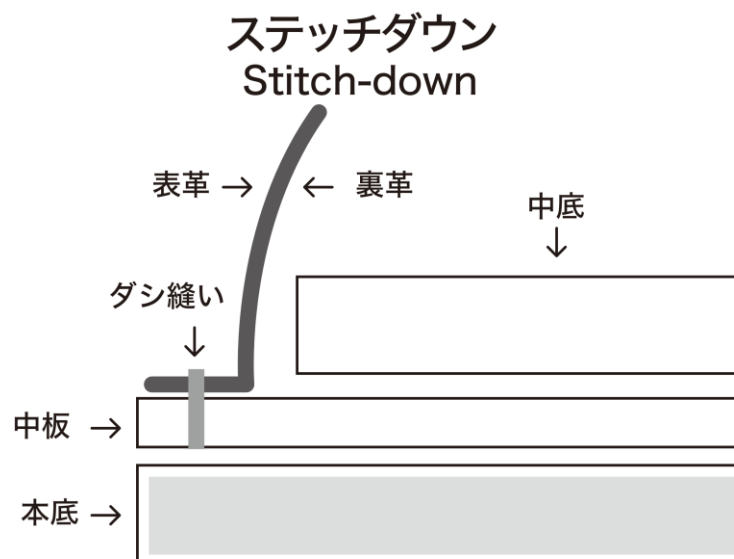


グッドイヤー・ウェルテッドは、初めから中底にリブを付けておき、機械でスクイ縫いを行います。1897年 C.Goodyear,Jr によって考案されました。

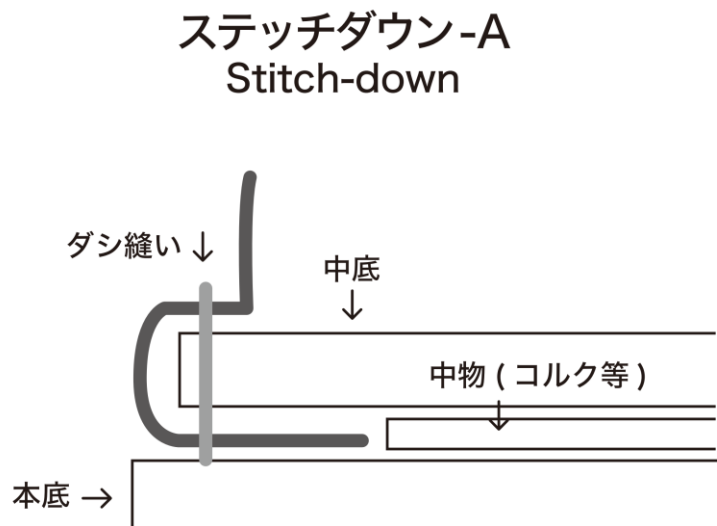
マッケイ Mckay



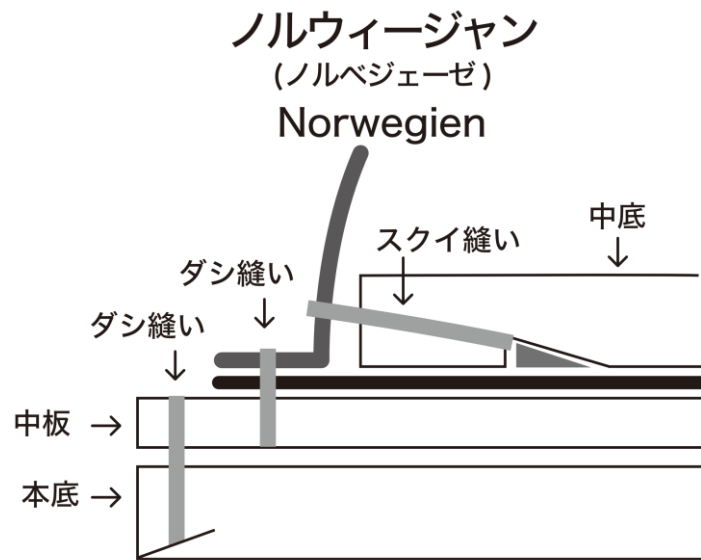
アッパーをつり込んだ後、靴型を抜きアッパー、中底、本底をダシ縫いし底付けする方法を指します。



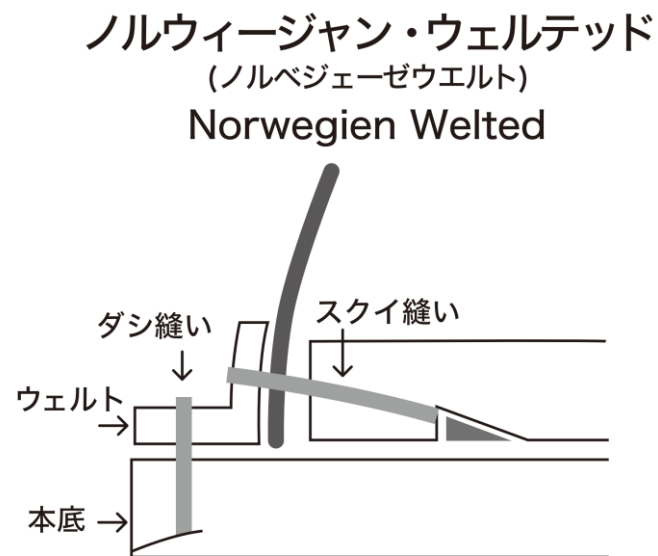
この方法は、アッパーを外側に出してつり込む方式で、やり方は色々ありますが、今回は、裏革（ライニング）を中底（インソール）につり込み、表革と中板（ミッドソール）を出し縫いして、その後、本底（アウトソール）を接着剤で着けます。



中底を甲革で巻き込んで、直接だし縫いし、本底を接着しています。

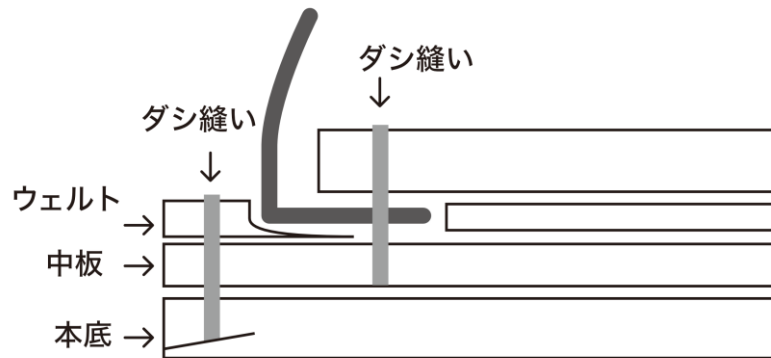


上図の様に中底を加工し、中底、裏革、表革をスクイ縫いして、その後、補強のため甲革を貼り、中板とダシ縫いをする。次に中板と本底をダシ縫いを行います。



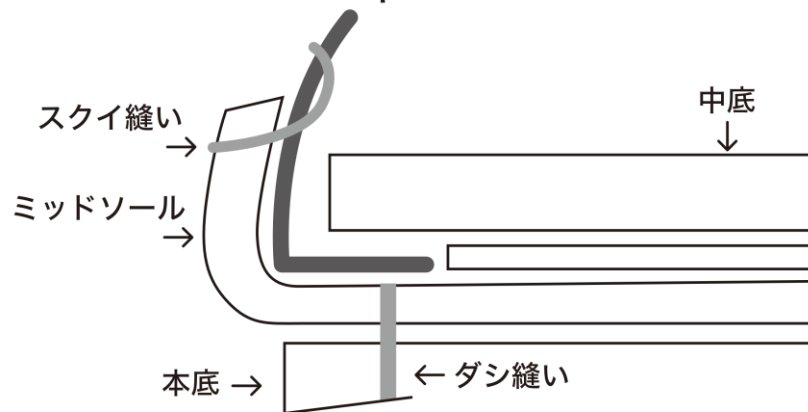
ノルウィージャンにL字に曲げたウェルトを付けスクイ縫いをした製法を指します。

ブラックラピド (ブラックラピッド) Blake-rapid



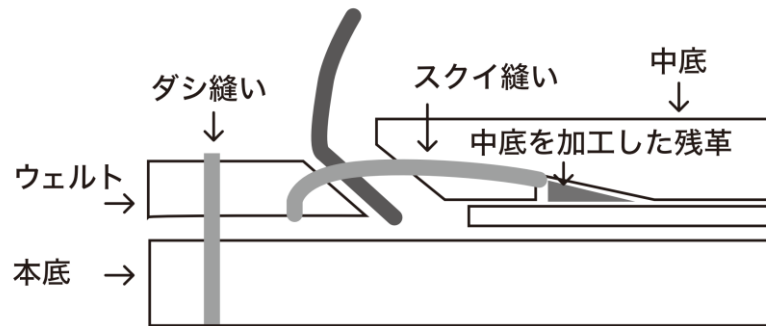
アッパーをつり込んだ後、靴型を抜きアッパー、中底、中板をダシ縫いをします。その後、ウェルト、中板、本底をもう一度ダシ縫いを行います。

オパンカ (オパンケ) Opanka



本底とミッドソールを接着し、ダシ縫いします。ミッドソールを水でぬらし木型に貼り付けクセ付けを行います。アッパーを中底につり込み、あらかじめクセ付けしておいたミッドソールを接着剤で貼り付け、その後ミッドソールと表革をスクイ縫いを行います。

ハドソーン・ウェルテッド (ハンドソールウェルト) Hand-sewn Welted



中底を図の様に包丁で加工し、中底、裏革、表革、ウェルトの4枚をスクイ縫いし、その後、ウェルトと本底をダシ縫いをします。
